

■発行日：2017年6月30日  
 ■発行所：栃木県中小企業家同友会  
 〒321-0968  
 栃木県宇都宮市中今泉2-3-13  
 TEL 028-612-3826 FAX 028-612-3827  
 E-mail : t-doyu@ninus.ocn.ne.jp  
 URL : http://www.tochigi.doyu.jp/  
 ■企画編集：広報委員会 ■印刷：有限会社 赤札堂印刷所



様

News Topic 01

栃木の話

～平成29年度代表理事挨拶～

人口1万人に対して  
10社の会勢を目指す

今期定時総会にて、本年度も代表理事をやらせていただくことになりました八木です。

私は37歳で社長を引継ぎ、41歳で同友会に入会しました。その時、会社をどうしていったら良いかわからず、もう少し早くから入会していればと後悔し、もう少し近所に何でも聞ける話せる経営者がいれば良いなと思いました。

今年の基本方針に「人口1万人に対して10社の会勢を目指す」を入れました。人口「1万人」は、県の中学校の学区の平均した人口とほぼ同じです(議案書P19)。中学生が徒歩や自転車で通学している広さのところで、いろいろと相談できる会員

企業が10社。先ずはその単位で「よい会社、よい経営者、よい経営環境」をどうしたら実現できるかを学ぶ学べる同友会を目指していきましょう。

今年から事務局長として、宮城同友会の事務局次長の経歴を持つ二階堂英夫氏を採用しました。会員増強を中心に頑張ってもらいたいと思っております。

今期、皆さんと栃木同友会を成長させていきましょう。

[文] 代表理事 八木 仁/株シンデン



八木 仁氏

News Topic 02

栃木の話

～鋤柄会長迎え、第32回定時総会開催～

仲間を増やし  
共に経営力を向上しよう

栃木同友会第32回定時総会は、4月20日ベルヴィ宇都宮を会場に開かれ、50名が参加しました。第一部総会では、2017年度スローガンを「仲間を増やし、共に経営力を向上しよう」、組織方針として、人口1万人に対して10社の会勢をめざし、20年後には、県内1,625社会員を目指すことを確認。代表理事に再任された八木仁氏は「理事会を中心に、県北、県央、県南の三地域(支部)に同友会を広げよう」と決意を表明しました。

第二部記念講演は、中同協会長鋤柄修氏が「経営指針を必ず作成し実践しよう」と強調、同友

会と自社の経営は不離一体であり、確信を持って前進して欲しいとの強い期待を述べました。

第三部懇親会では、9月14、15日第45回青全交を担当する隣県の茨城同友会から参加への強い呼びかけがあり、栃木からは「30名参加目標で頑張る」とエールを交換。なごやかな中にも新年度への新たな意欲とパワーのみなぎる総会となりました。

[文] 中同協 顧問 国吉昌晴



鋤柄 修氏

今後の  
予定

**7月** 7月県例会  
 報告者/中村 誠氏  
 (株)ゼニス  
 環境事業推進グループリーダー  
 商品のブランディング・自己のブランディング  
 【開催日】7/25(火) 17:30～  
 【会場】宇都宮市東市民活動センター

**9月** 経営フォーラム  
 10年ビジョン～社員と笑える未来をつくる～  
 報告者/玄地 学氏(宮城同友会)  
 東洋産業(株) 社長  
 【開催日】9/8(金) 15:00受付 15:30開会  
 【会場】ベルヴィ宇都宮  
 【参加費】7,000円(懇親パーティー参加費含)

第45回青年経営者全国交流会 in 茨城  
 『語れ夢! ぶつけよ思い! 弘めよ我らの志! ~挑戦こそが未来を創る~』  
 【開催日】9/14(木) 13:00～分科会・懇親会  
 9/15(金) 全体会  
 【会場】水戸プラザホテル他(水戸市内)

※予告なしに内容等が変わる場合があります。詳しい日程と時間は栃木県中小企業家同友会事務局(☎028-612-3826)までお問い合わせください。

## 社員を巻き込んだ 経営指針の全社実践

2月20日、東洋産業(株)の玄地学社長を迎え「社員を巻き込んだ経営指針の全社実践」をテーマに2月県例会が開催された。

「経営指針作成と実践の手引き」改定プロジェクトリーダーを務めた氏の話は実践的で学びの多い内容であった。

清掃及び清掃用品の卸売りが事業内容だった同社だが、現在は「総合衛生プロデュース業」に事業定義を見直し、洗剤の自社開発も含む一貫したサービスを展開する。

以前からこうではなく、ワックス不要床の登場など

により売上げ減少を感じ、M&Aなどの対応をしてきた中で、同友会入会・経営指針セミナーへの参加を転機に変革をとげてきた。「社員の笑顔がみえない！」仲間の指摘で気づきを得た氏は、「小学生でもわかる言葉」、「社員が見やすい様式」など全社員での指針共有を重視してきた。



玄地 学様

「企業変革支援プログラムを活用し、社員自身が採点&1点あげるにはどうするか考える」という巻き込み方は自社にも取り入れたいと感じた。

[文] 県南支部・副支部長

山寄俊也／タカマチ産業(株)

## みんなの経営の悩み事を 説きあおう! 持ち帰ろう!

[報告] (株)アクティチャレンジ 専務 中村悟志氏  
(株)ウイステリアコンパス 社長 斎藤秀樹氏  
(株)栃木合同計理センター 社長 高井泰宏氏  
中同協 顧問 国吉昌晴氏

去る5月24日、今年度第1回目の例会が行われ、報告者は現状を語った。「業界の人手不足の煽りを受け、引き抜きが横行。退職した社員がさらに別の社員を引き連れていくなどあったが、最近は戻ってくる社員が多い。」「2045年問題で『無くなる仕事』に税理士業もある。ここ10年で一社当たりの仕事量

は1/2～1/3になった。手間仕事は無くなり提案力が課題となる。10年後を見据え全員で経営像を議論している」「新規事業への参入を余儀なくされる企業もあるが、本業とのシナジーを大切にし、自社の強みを生かすことで時代対応している。また、『社員が幸せになることを願う会社』が社員の活力を引き出し業績を上げている」と三者三様に報告した。

国吉氏は「無くなる仕事もあり、夫々の業界も大きく変わっていく。お客様のニーズはどこにあるのか、そこに自社の強みをどう結びつけていくのか、今が厳しくても10年後を見据え、自社の生き残り発展を考えていくこと。そのためにも同友会で学ぶことが大切」とまとめた。[文] 事務局 二階堂英夫

平成28年度、障がい者就労支援部会におきまして、平成29年3月2日～3日と二日間、会場を「とちぎろまんちっく村」にて【東日本地区障害者問題交流会】を開催した。同友会、障害者問題に関する有志の会で開催しており、今回で7回目を迎える。

会の報告者は、埼玉同友会より、(有)福祉ネットワークさくら 代表 横山由紀子氏、神奈川同友会より、(有)川田製作所 副社長 川田俊介氏より、積極的な障害者雇用の事例を発表して頂いた。開催県である栃木同友



会からも、福祉関係事業所(社会福祉法人こぶしの



会：高橋氏／NPO法人チャレンジド・コミュニティ理事長金井氏による、同友会内 部会設立の経緯発表、NPO法人CCV理事長福田氏の地域で支え合う障がい者就労支援)からの報告を行い盛大に、平成28年度の活動を締めくくる運びとなった。

[文] 障がい者就労支援部会

部会長 福田雅樹

## ■ 栃木同友会に関する資料請求はこちらまで → FAX 028-612-3827

貴社名	役職名・氏名	
住所 〒		
TEL	FAX	E-mail

\*ご記入いただいた個人情報は、各種ご案内ならびにお問い合わせ対応のみに使用し、第三者への開示は一切ありません。